

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	掛川市役所		代表者名	市長 久保田 崇
担当者部署	企画政策部		連絡先電話番号	0537-21-1208
担当者役職	係長	担当者氏名	鈴木 健二	連絡先E-mail
住所	436-8650 静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	被災者支援システムについて、各種機能の紹介や他市町の活用事例を紹介いただいた。市職員としてのご経験に基づき、職員目線でご説明いただいたので、とても分かりやすかった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年12月21日	14時00分	16時00分		120
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供する「被災者支援システム」について、本市において導入以降、本格運用に向けての体制作りが行われていない。システムの機能についての理解が不十分である。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	関係各課が本格運用に向けての必要事項を確認し、災害発生時にシステムを活用して適切な被災者支援を行うための準備を整える。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	被災者支援システムの各種機能及び自治体における活用事例の紹介をいただいた。また、実際の災害時の被災者支援における留意点や被災者支援システムを活用した解決策をご教授いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	関係各課において、被災者支援におけるICTやデータ活用の必要性を改めて確認できた。体制作りやデータ連携等、必要な準備を進めていかなければいけないという意識を持つことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	災害対応において、デジタル技術やデータの活用により、迅速で的確な対応を行う体制を整える。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

